

製品名: FoxO3a (2Z6) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe11104**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% 新タイプ防腐剤 N、および 0.05% 保護タンパク質で供給されます。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,FC 1:50-1:200
分子量	71kDa

抗原情報

遺伝子名	FOXO3
別名	Forkhead box protein O3; AF6q21 protein; Forkhead in rhabdomyosarcoma-like 1; FOXO3; FKHL1; FOXO3A;
遺伝子 ID	2309.0
SwissProt ID	O43524
免疫原	ヒト FOXO3A の合成ペプチド

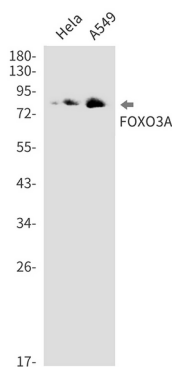
背景

FoxO3a は、酸化ストレスによる神経細胞死を含む、生存因子が存在しない状況下でアポトーシスを誘導する転写活性化因子です。DNA 配列 5'-[AG]TAAA[TC]A-3' を認識し、結合します。MYC の転写後制御に関与し、MAPKAPK5 によるリン酸化に続いて、MYC 転写産物の 3'UTR に結合して翻訳を阻害する 2 つの転写後制御因子である miR-34b および miR-34c の発現誘導を促進します。DNA 配列 5'-[AG]TAAA[TC]A-3' を認識して結合し、アポトーシスやオートファジーなどの様々なプロセスを制御する転写活性化因子 (PubMed:10102273、PubMed:16751106、PubMed:21329882、PubMed:30513302) 。骨格筋におけるオートファジーの正の調節因子として作用する。飢餓細胞では、脱リン酸化後に核内に侵入し、GABARAP1L、MAP1LC3B、ATG12 などのオートファジー遺伝子のプロモーターに結合してそれらの発現を活性化し、骨格筋タンパク質のタンパク質分解を引き起こす (類似性による) 。酸化ストレスによる神経細胞死を含む、生存因子が存在しない状況下でアポトーシスを誘導する (PubMed:10102273、PubMed:16751106) 。MYC の転写後制御に関与し、MAPKAPK5 によるリン酸化に続いて、MYC 転写産物の 3'UTR に結合して翻訳を阻害する 2 つの転写後制御因子である miR-34b および miR-34c の発現誘導を促進する (PubMed:21329882) 。代謝ストレスにตอบสนองしてミトコンドリアに移行し、mtDNA の転写を促進する (PubMed:23283301) 。代謝ストレスにตอบสนองしてミトコンドリアに移行し、mtDNA の転写を促進する。脂質の利用可能性に応じて骨格前駆細胞の軟骨分化誘導の重要な調節因子としても作用します。脂質レベルが低い場合、核に移行し、軟骨分化誘導を誘導し脂肪酸酸化を抑制する SOX9 の発現を促進します (類似性による) 。また、FOXP3 の発現を活性化することにより、制御性 T 細胞 (Treg) の分化の重要な調節因子としても作用します (PubMed:30513302) 。

研究分野

インスリン受容体; B 細胞受容体; PI3K/Akt; タンパク質アセチル化

画像データ



FOXO3A 抗体 (1:1000 希釈) を使用した HeLa A549 細胞溶解物中の FOXO3A のウェスタンプロット検出。